

年頭ご挨拶

高槻市長
濱田 剛史

明けましておめでとうございます。高槻市シルバー人材センターの会員、役員の皆様並びに、ご協力いただいている関係者の皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、貴センターにとりまして、創立35周年という記念すべき節目を迎えられたことに加え、会員登録者数が延べ1万人を達成されるなど、永年にわたり、様々な事業に取り組みられたことが実を結び、大きく発展を遂げられた年でございました。ここに、改めてお祝いを申し上げますとともに、心から敬意を表する次第でございます。

また、本市が昨年4月に開始しました「介護予防・日常生活支援総合事業」におきましても、いち早く事業所指定を受け活動いただいております。貴センターの新たな取組にも大いに期待を寄せているところでございます。

さて、全国的に少子高齢化が急速に進展する中、本市の高齢化率は近

隣よりもやや高い傾向で推移しております。こうした中、本市におきましては、高齢者の皆様が、住み慣れた地域で生き活きと元気に暮らしていけるよう、「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取組をはじめ、「ますます元気！健康ポイント事業」などの健康づくりや介護予防に向けた取組など、様々な施策を推進しております。

これらの取組には、行政のみならず、地域住民の皆様や、地域で活動される各団体との協働が不可欠であります。とりわけ、高齢者の皆様が、社会参加をより一層推進し、元気な高齢者が生活支援の担い手となることで、益々元気に地域で活躍されることに期待するところでございます。貴センターにおかれましては、シニア層の社会参加と生涯現役社会の実現に向けて、日々ご貢献をいただいておりますが、元気な高齢者を支えていくために、その役割は、今後益々重要になるものと考えておりますので、引き続き活力ある地域づくりにご尽力を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。

結びに、高槻市シルバー人材センターのご発展と、会員の皆様のご健康、ご多幸を祈念いたしました。新年のご挨拶とさせていただきます。

理事長
山川 明

明けましておめでとうございます。

昨年は、本シルバー人材センター創立35周年を迎え、重ねて、会員登録延べ人数1万人を達成した喜ばしい節目の年でありました。

今年の干支は戊戌（つちのえいぬ）です。同じ戊戌の年だった60年前は、東京タワー、国立競技場が完成、岩戸景気がはじまった年でした。戊戌の年は「勢いが増す」と言われています。

高槻市は高齢化率が大阪府内でも高く、人口の1/3以上が60歳以上の方で構成されています。その中でシルバー人材センターは、高齢者の皆さんが「知識・経験・技能」を発揮される就業等の機会を通して、会員の皆様の生がいの充実を図り、かつ地域社会に貢献できるよう努めているところです。就業は「月10日程度、週20時間以内」の請負等を中心とし、社会経済環境の変化に伴い派遣労働が加わり、今後、就業機会の選択性・多様性が一層増すものと思われ

ます。また、新たな社会的要請として

人手不足分野への参画に大きな期待が寄せられています。平成29年度から市が実施した「介護予防・日常生活支援総合事業」（新総合事業）に参画しました。また昨年12月、念願の新名神高速道路の高槻IC・JCTが開通し、物流拠点機能の拡充が期待されており、配送業務に関連する就業にも積極的に取組んでいきたいと考えています。

シルバー事業、仲間づくり活動の拠点であるセンターの事務所も建設から30年を経過し、老朽化に対応した大規模修繕などが必要となるため、将来を見通し計画的に対応していきたいと考えています。会員数の拡大と就業機会の拡充は組織の基盤（両輪）に関わるものであります。団塊の世代も2020年には全員70歳に到達されます。今こそ、アクティブシニアに向けた、入会の取組、就業ニーズの多様化を踏まえた取組を進めます。今年も、理事各位、会員、職員の協力の下、シルバー事業発展のために尽力したいと思います。結びに、会員の皆様方の益々のご活躍とご家族ともども健康に過ごされることを祈念し、年頭のご挨拶といたします。